

クラス	Q302	担当教員	今井 理恵
テーマ	特別なニーズのある子どもとともに学ぶ ―教育の意義と課題		
<b>著書・論文</b>  <b>研究課題等</b>	<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『発達障害児のキャリア形成と授業づくり・学校づくり』、共著、「生活指導、学級づくりを核としたキャリア形成の方法」 pp.17-25、黎明書房、2011.</li> <li>・『特別支援教育を変える授業づくり学級づくり 1、芽生えを育む授業づくり・学校づくり』、共著、「授業を通じた人間関係力の形成」、pp.45-57、明治図書、2009.</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「インクルーシブ教育実践の理論的枠組み―イギリスにおける Inclusive Schools 論に着目して―」、『教育方法学研究』 35 号、日本教育方法学会、2010.</li> </ul> <p>(研究課題)</p> <p>学校教育において特別な教育的ニーズのある子どもも含めて、一人ひとりが排除されることなく、他者との共同的な学びを保障する教育方法について追求している。とりわけ、インクルーシブ教育に着目し、インクルージョンの思想・原理に学びながら、インクルーシブ教育実践の方法について明らかにすることを研究課題としている。</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：特別な教育的ニーズ、発達障害、インクルーシブ教育、生活指導、特別支援教育			
<p><b>目的、内容、方法、授業計画等：</b></p> <p>(学習目標)</p> <p>特別なニーズ教育のあり方について学び、特別な教育的ニーズのある子どもの発達における教育の意義と課題について考えを深める。</p> <p>(内容、方法)</p> <p>子どもの生活現実と特別な教育的ニーズに対する認識を深め、さまざまな課題を抱える子どもに対して学校教育はどのように応答しようとしているのかを追求する。一人ひとりが排除されることなく、差異を認め合いながら多様な他者とのつながりのなかで共同的に学ぶ教育実践のあり方についてグループでの調査・研究・発表を基本としながら進めていく。</p> <p>(授業計画等)</p> <p>1. 特別な教育的ニーズのある子どもの生活現実をよみひらく、2. 子どもの生きづらさと向き合う (いじめ、不登校、発達障害、外国籍の子どもなど)、3. 子ども観を問い直す、4. 特別なニーズ教育について認識を深める、5. 特別なニーズ教育における諸外国の動向、6. 日本における特別な教育的ニーズのある子どもの学びについての現状と課題を探る、7. 「共同的な学び」について追求する。</p> <p>上記にあげた学習課題について文献、資料、などを用いながら学び、そのうえで特別なニーズ教育に関わる研究テーマを設定し、グループでの調査・研究・発表をおこす。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>特別支援教育について改めて問い直してみたい、特別支援学校の教師になることを目指している、いじめや不登校、発達障害、外国籍の子ども教育問題など、特別なニーズのある子どもの“教育”についてさまざまな視点から共に考えていきましょう。</p> <p>ゼミでは研究テーマを設定し、グループによる調査・研究・発表を主たる活動としますので、積極的にグループ活動に参加することを期待しています。</p>			